

2019年度 ル・サンテリオン事業計画書

1. 施設理念

1. 暮らしやすさを追求し自立支援に向けて、専門職が総合的に支援します
2. 安心した在宅生活が続けられるようなつながりを大切にします

2. 施設方針・テーマ

基調テーマ：「選ばれるサンテリオン」～地域へ良質なサービス提供を～
【老健施設の役割】「包括的ケアサービス施設」「リハビリテーション施設」
「在宅復帰施設」「在宅生活支援施設」「地域に根ざした施設」

3. 実施事業

- (1) 介護老人保健施設 ----- 定員40名
介護老人保健施設 ユニット型 ----- 定員60名
- (2) 短期入所療養介護（ユニット型） ----- 空床利用型
介護予防短期入所療養介護（ユニット型） ---- 空床利用型
- (3) 通所リハビリテーション ----- 定員45名
介護予防通所リハビリテーション
- (4) ケアハウス ル・サンテリオン ----- 定員15名
- (5) 居宅介護支援事業所
- (6) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

4. 重点目標 抱負・目標

昨年度は、ユニット棟・認知症専門棟ともに超強化型を取得した。多職種が在宅復帰支援にかかわらず、ひとりひとりの利用者の生活に視点を置き、ご本人及び取り巻く環境に合った今後の生活を考える「中間施設として」老健の5つの役割を果たしてきた結果である。今年度も継続して、ご利用者の自立支援を念頭に、在宅復帰促進及び専門性の高いケアに向けての取組を進めていく。また、老健に求められる「地域貢献」を強化し、各専門職及び在宅サービス部門が現状の地域ニーズを意識し、それに応えられるような資源づくりやつながりの開拓をしていく。

1. 専門職にできる 暮らしやすさの追求

～できることに気づき活かす支援と環境づくりに特化した老健・通所リハ～

2. 認知症になっても安心して笑顔で暮らせる老健を目指す
3. 地域づくりへの参画
4. 人間力あふれるチームづくり～創造力の醸成～

(1) 利用者サービス

◆介護老人保健施設

◇「安心」「満足」「自信」につながる継続した在宅復帰支援

- ・企画会・連携会議を活かした内部コミュニケーションの充実
- ・本人・家族・多職種との連携～タイムリーに実施する家庭訪問と情報共有～
- ・活動と参加に焦点を当てた心身能力を引き出すリハビリテーション

◇ケアの専門性を高める

- ・快適な排泄ケアと尿路感染症の予防的取組
- ・認知症のご利用者の生活の質を高める～パーソン・センタード・ケア～
- ・事例検討からの専門性の振返りと展開
- ・記録の電子化の機能的活用による業務の効率化と提案

◆通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション

◇暮らしやすさの追求「サンテリオンで生活目標の実現」

- ・個々の利用者の生活に焦点を合わせたマネジメントの実施
- ・ご本人・家族、地域・他事業所との連携によるサービス提供

◆ケアハウス

◇生活に楽しみが増える余暇活動、生活環境の充実

◇記録及び個別支援計画の充実

◇ご家族、多職種、療養課との連携

◆居宅介護支援事業

◇特定事業所加算(Ⅲ)の取得

◇包括支援センター、病院、老健との連携の強化

◇課題分析力の向上～相互点検の実施～

(2) 施設・設備整備

◆ご利用者個々の過ごしやすい環境を設える

◆新しい介護機器への更新と活用

◆老朽箇所の修繕及び不具合が起こったときの迅速な対応

(3) 施設管理

◆法令遵守

◇高齢者虐待防止・身体拘束廃止・褥瘡予防・感染症予防対策等

徹底した安全管理（介護事故予防・苦情解決・感染症予防への取組等）

◇リスク委員会の計画的開催による予防的取組

- ◇ご利用者・家族のご意見・苦情への迅速・丁寧な対応を組織で行う
- ◆防災管理（火災・自然災害等）
 - ◇近隣施設合同の総合防災訓練等の実施と設備管理
- ◆会議委員会の具体的展開
 - ◇業務改善からサービス向上に向けた会議委員会の適正運営と実施

（４）職員管理

- ◆職員満足度向上～やりがいのある職場環境づくり～
- ◆継続的な教育研修の実施と外部研修による職員個々の専門スキルの向上
 - ◇認知症・喀痰吸引研修の修了者を増、リーダー育成、ナースの研修参加
- ◆老健大会・介護福祉士研究発表会・仁敬医療福祉学会等に向けた取組

（５）経営管理

- ◆目標稼働率…各セクションの数値目標の明確化と具体的展開
- ◆健全経営
 - ◇予算・事業計画に基づく収支予算の適正管理
 - ◇待機者の確保と入退所時のスムーズな対応で稼働の安定を図る
 - ◇法改正に向けた連携と迅速な情報収集

（６）地域との連携

- ◆地域ニーズに沿って行う地域をサポートする取組
- ◆ご家族、ボランティアとの顔の見える関係づくり